

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和 5年 6月16日

青森県知事 三村 申吾 殿

提出者

住 所 青森県三沢市松園町1丁目6番15号

氏 名 有限会社 浜田工業

代表取締役 浜田康尊

電話番号 0176-53-6823

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	有限会社 浜田工業
事業場の所在地	青森県三沢市松園町1丁目6番15号
計画期間	令和 5年 4月 1日 ～ 令和 6年 3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	06 総合工事業
② 事業の規模	11,797 万円
③ 従業員数	16名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none">・アスファルト・コンクリート殻は再生処分業者に委託して、破碎し、再生アスコン・再生路盤材として再資源化し、コンクリート殻は破碎し、その全部を再生路盤材として再資源化する。・木くず・廃プラ・金属くず等は、最終処分業者に委託して、破碎後、焼却、又は埋立処分とする。

（日本産業規格A列4番）



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

代表取締役 → 役割 廃棄物処理方針の策定、処理に関する事項の決定
及び承認

工事課長 → 役割 廃棄物管理状況の把握と管理票の交付・管理

総務部 → 役割 マニフェストの作成・管理

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	排 出 量	1,599.12 t	5.73 t
	(これまでに実施した取組) 必要量発注の実施（がれき類）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	—
	排 出 量	1,000 t	—
	(今後実施する予定の取組) 必要量計算の細分化する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) がれき類（アスファルト・コンクリート殻）は分別するとともに、 他の廃棄物が混入しないように注意する。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 紙くず、繊維くず、ゴムくず、廃プラスチック、金属くず、ガラスくず 等についても分別を実施する。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

代表取締役	→	役割	廃棄物処理方針の策定、処理に関する事項の決定 及び承認
工事課長	→	役割	廃棄物管理状況の把握と管理票の交付・管理
総務部	→	役割	マニフェストの作成・管理

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	——
	排 出 量	0.49 t	——
	(これまでに実施した取組) 必要量発注の実施（がれき類）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	——	——
	排 出 量	——	——
	(今後実施する予定の取組) 必要量計算の細分化する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) がれき類（アスファルト・コンクリート殻）は分別するとともに、 他の廃棄物が混入しないように注意する。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 紙くず、繊維くず、ゴムくず、廃プラスチック、金属くず、ガラスくず 等についても分別を実施する。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	—	—
	(これまでに実施した取組)		
② 画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	—	—
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	—	—
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	—	—
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	—	—
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	—	—
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面) - 1

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	—	—
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	—	—
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず [※]
	全 処 理 委 託 量	1,599.12 t	5.73 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	—	—
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	1,599.12 t	5.73 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	—	—
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	—	—
	(これまでに実施した取組)		
	<p>・アスファルト・コンクリート等は再生処分業者に委託して、破碎し再生アスファルト・再生路盤材として再資源化し、コンクリート等は、その全部を再生路盤材として再資源化する。</p> <p>・木くず、廃プラ等は、最終処分業者に委託して、破碎後、焼却・又は埋立処分とする</p>		

(第4面) - 2

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	—	—
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	—	—
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	—
	全 処 理 委 託 量	0.49 t	—
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	—	—
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0.49 t	—
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	—	—
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	—	—
	(これまでに実施した取組) <ul style="list-style-type: none"> ・アスファルト・コンクリート等は再生処分業者に委託して、破碎し再生アスファルト・再生路盤材として再資源化し、コンクリート等は、その全部を再生路盤材として再資源化する。 ・木くず、廃プラ他は、最終処分業者に委託して、破碎後、焼却・又は埋立処分とする 		

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	——
	全処理委託量	1,000 t	
	優良認定処理業者への 処理委託量	——	——
	再生利用業者への 処理委託量	1,000 t	——
	認定熱回収業者への 処理委託量	——	——
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	——	——
	(今後実施する予定の取組) 中間処理(破碎)業者に搬出し、再生資源化(再生路盤材、再生アスコン)する。		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。